

# ファインセーブ®フロアブル

■種類名：フロメトキン水和剤  
 ■有効成分：フロメトキン----- 10.0%

■登録番号：第24070号（日本化薬登録）  
 ■毒性：医薬外用劇物  
 ■登録初年：2018.03.30  
 ■性状：類白色水和性粘稠懸濁液体  
 ■有効年限：4年  
 ■包装：2ℓ×8本

## 【特長】

- アザミウマ類に特効的。サビダニ類にも高い効果を示す。併せて、タバコナジラミ類、小型のチョウ目害虫にも有効。
- 新規作用機作(ミトコンドリア電子伝達系複合体III Qi を阻害する初の殺虫剤)で既存剤に感受性の低下した害虫にも有効である。
- 極めて高い速効性を示し、残効性にも優れる。
- ミツバチ・マルハナバチ・カブリダニ類等、天敵・有用昆虫に対する影響が小さい。

## 【適用内容】(2025年1月29日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメトキンを含む農薬の総使用回数				
かんきつ	アザミウマ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ	2000~4000	200~700	収穫7日前まで	2回以内		2回以内				
マンゴー	アザミウマ類	2000									
なす	タバコナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	1000	100~300	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内				
	アザミウマ類	1000~2000									
ピーマン ししとう	タバコナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	1000									
		1000~2000									
しよくよう ほおずき バジル にんにく	アザミウマ類	2000									
トマト ミニトマト	アザミウマ類 タバコナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	1000~2000									
	トマトサビダニ	1000~4000									
すいか いちご	アザミウマ類	1000~2000									
はくさい	アオムシ	1000						収穫7日前まで	2回以内		2回以内
	コナガ	1000~2000									
キャベツ	コナガ アザミウマ類		1000	収穫3日前まで							
	アオムシ										
きく(葉) にら 食用ぎく	アザミウマ類	2000	収穫前日まで	3回以内		3回以内					
しそ											
しそ(花穂)											
ブロッコリー カリフラワー	アオムシ アザミウマ類	1000	収穫3日前まで	2回以内		2回以内					
	コナガ	1000~2000									

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量 (ℓ/ /10a)	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	フロメトキン を含む農薬の 総使用回数	
だいこん	コナガ	1000～ 2000	100～ 300	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回 以内	
ねぎ	アザミウマ類			収穫 3 日前 まで				
	ネギハモグリバエ	収穫前日 まで						
わけぎ あさつき	アザミウマ類 ネギハモグリバエ	2000		収穫 3 日前 まで	3 回 以内			3 回 以内
たまねぎ	アザミウマ類	1000～ 2000		収穫 14 日前 まで	2 回 以内			2 回 以内
ほうれんそう		2000						
アスパラガス	アザミウマ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	2000	100～ 800	収穫前日 まで	3 回 以内	散布、 但し、花穂の 発生期には マルチフィルム 被覆により散布 液が直接花穂に 飛散しない状態 で使用する。	3 回 以内	
みょうが (花穂)	アザミウマ類	1000	100～ 300	みょうが (花穂)の収穫 前日まで 但し、花穂を収 穫しない場合 にあつては開 花期終了まで				
みょうが (茎葉)								
茶	チャノホソガ	2000～ 4000	200～ 400	摘採 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回 以内	
	チャノキイロアザミウマ	1000～ 4000						
グロリオサ ダリア ラナンキュラス	アザミウマ類	1000	100～ 300	発生初期	2 回 以内	散布	2 回 以内	
ほおずき きく		2000						

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量 (ℓ/ /10a)	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	フロメトキン を含む農 薬の総使 用回数
なす	温室、 ガラス室、 ビニール ハウス等の 密閉できる 場所	アザミウマ類	67	10	収穫前日 まで	3 回 以内	常温煙霧	3 回 以内
みょうが (花穂)			33				常温煙霧、 但し花穂の発生期に はマルチフィルム 被覆により煙霧が 直接花穂に飛散しな い状態で使用する。	
みょうが (茎葉)								

## 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 使用直前に、容器をよく振ること。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけむらのないように葉の表裏に十分散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意を守ること。
  - ◆ 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
  - ◆ 煙霧が直接収穫物に当たると汚れが生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が収穫物に直接当たらないようにすること。
  - ◆ 作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉すること。できれば翌朝までとすること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 【安全使用上の注意】

- ❖ 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
  - ❖ 使用の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
  - ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
  - ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
  - ❖ 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ること。
  - ❖ 常温煙霧中はハウス内へ入らないこと。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
  - ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
    - 養殖池周辺での使用はさけること。
    - 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
    - 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管すること。盗難、紛失の際は、警察に届け出ること。